

1 平良港長期構想案に関するアンケート調査 調査結果

1.1 アンケート調査の概要

1)アンケート調査の目的

平良港における長期構想の策定にあたり、構想案に対する住民の考えや幅広い意見等の把握に努め、構想案策定のプロセスの透明性、客観性を向上させることにより、住民からの理解の促進及び合意形成を図ることを目的に実施する。

今回のアンケート調査は、これまで2回開催された「平良港長期構想検討委員会」で議論してきた構想案に対する地域住民への周知及び理解を得るため、また意見の把握を目的とする。

2)アンケート調査の対象

長期構想策定案について、幅広く意見徴収を実現するため、平良港の背後住民(宮古島市住民)及び航路利用者(多良間村住民)を対象として実施する。

3)アンケート調査サンプル数

平良港背後住民(宮古島市住民)及び船舶利用者(多良間村民)の人口・世帯数は以下の通りである。

図表 1.1.1 平良港背後圏住民及び航路利用者の人口・世帯数

	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口比 (%)
宮古島市	24,235	52,931	98.0%
多良間村	466	1,058	2.0%
計	24,701	53,989	100%

資料:R2年国勢調査(R3.11月30日公表)

これより、信頼度 95%の必要サンプル数は以下の通り、**400 通**となる。

$$n = \left(\frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K} \right)^2 \times \frac{N-1}{\pi \times (1-\pi)} + 1} \right) + 1$$

$$\frac{24,701}{0.00065 \times \frac{24,700}{0.25} + 1} + 1 = 379 \approx 400$$

必要サンプル数

24,701 母数(宮古・多良間世帯数) H27.国調査

0.05 目標精度

1.96 信頼度95%の時、1.96と設定

0.5 50%(質問が多岐にわたる場合でいろいろな回答率が出る場合は50%)

4)調査数量の設定

一般的なアンケートの回収率を20%程度と見込むと、必要な配布数は以下の通りとなる。

400 通/20%=2,000 通

5)宮古島市と多良間村の配布数設定

人口比率より、世帯配布数は以下の通りとなる。

宮古島市 2,000 世帯×98.0% = 1,960 世帯

多良間村 2,000 世帯×2.0% = 40 世帯

宮古島市に関しては、配布対象がほぼ2,000程度になることから、2,000世帯に配布する。

多良間村に関しては、回収率(20%)を考えると8世帯(40×20%)程度しか回収できない可能性があることから、世帯の半数程度、240世帯に配布する。

あわせて、2,240世帯を対象に調査を実施するものとする。

6)行政区別配布数及び配布・回収方法

(1)配布数及び配布方法

a)宮古島市

宮古島市内は、111の行政区別に配布する。

配布数は、行政区別世帯数の割合より各行政区別の配布数を決定する。

配布は、広報誌配布時(毎月15、25日)に併せて各行政区の担当者に配布する。

各行政区の担当者には、各区において任意の世帯に配布するよう依頼する。配布に際しては、年齢、性別等に偏りがないように配布をお願いする。

b)多良間村

多良間村内は、9つの自治会に配布する。

配布数は、自治会別世帯数の割合より各自治会別の配布数を決定する。

配布は、広報誌配布時(毎月12、19日)に併せて各自治会の担当者に配布する。

各自治会担当者には、各会において任意の世帯に配布するよう依頼する。配布に際しては、年齢、性別等に偏りがないように配布をお願いする。

(2)回収方法

宮古島市及び多良間村とも、返信用の調査票(ハガキ)により回収する。

回収先は、調査受託者となる国建宛とする。

(3)アンケート調査項目について

平良港の将来の役割や平良港長期構想の基本方向、平良港のこれからの姿について、幅広く意見等を求める。

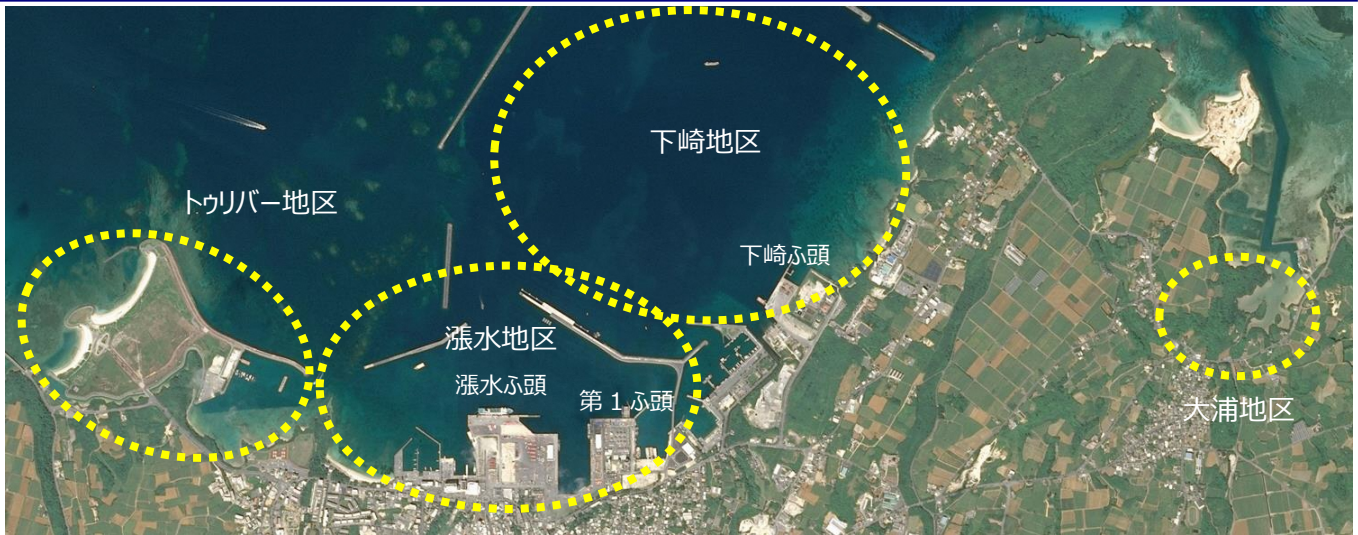
7)説明資料及びアンケート調査票

1. 平良港の役割及び課題について

1. 平良港とは

漲水地区、下崎地区、トゥリバー地区、大浦地区の4地区からなる平良港は、宮古圏域の物流拠点として、住民約5万人の生活を支える役割を果たしています。

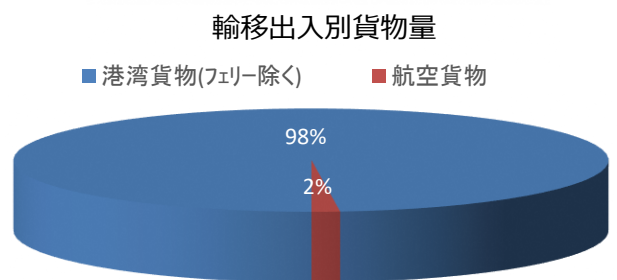
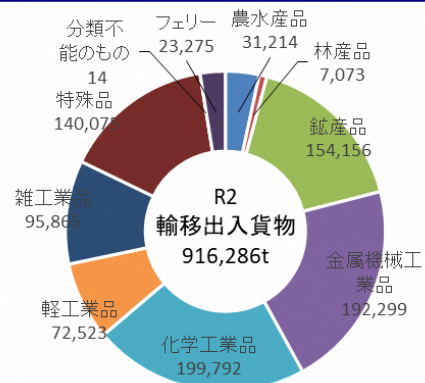
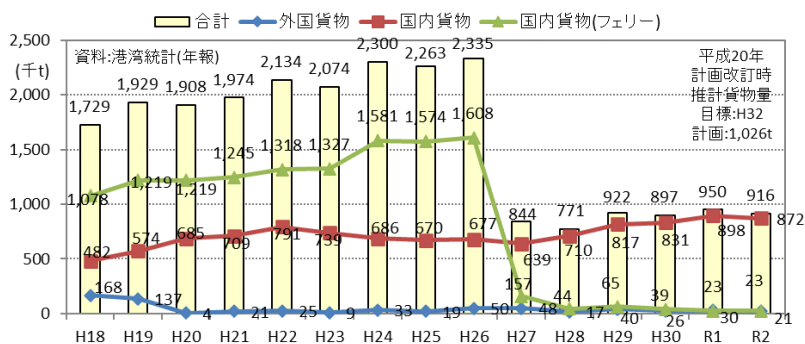
食料品や日用雑貨品、ガソリン等の日々の生活に必要な物資や、石油・ガス等のエネルギー資源、建築資材等が運ばれてくると共に、砂糖や葉たばこ、牛等の宮古圏域の主要農産品等が出荷されています。また、大型のクルーズ旅客船等が寄港し、国内外からの観光客も訪れています。



2. 平良港で取り扱う貨物や船舶について

平良港で取扱っている貨物量は、令和2年は91.6万トンとなっており、ここ数年は横ばいで推移しています。平成26年と27年の貨物量が大きく変動しておりますが、平成27年1月の伊良部航路廃止によりフェリー貨物が減少し海路での貨物輸送がなくなったことが要因となっています。なお、宮古島市に入る貨物の98%が船によって運ばれ、平良港から市内の事業所等や個人に届けられています。

主な取扱貨物は、化学工業品、金属機械工業品、鉱産品、軽工業品となり、全体の7割を占めます。また、近年、平良港においても定期クルーズ船等の寄港によりクルーズ船の寄港回数が増加しました。しかしながら、令和2年以降、コロナ感染症の世界的な拡大によりクルーズ船の運航が停止し、以降、これまでに平良港へは「ばしぶいっくびーなす」の1回の寄港のみの状況となっております。



3. 漲水地区について

漲水地区では、物流の拠点として沖縄本島や石垣島からの物資の運搬が行われています。

生活物資や日用雑貨品、石油やガス等のエネルギー資源や建築資材がここに運び込まれ、宮古圏域で生産される製造品や農水産品等がここから運び出されています。

漲水地区は、宮古島の海の玄関口としての役割を担っています。大型クルーズ船の乗客や多良間フェリーの利用者も本地区に降り立ちます。

現在、漲水地区では複合一貫輸送ターミナル事業により水深7.5～10m、全体延長440mのうち250mの岸壁が整備され大型船舶が利用しております。また、250mのうち220mは耐震強化岸壁として整備され、地震等の被災時の緊急物資供給拠点として利用されます。残る190m部分については、令和6年春の供用開始を目指し建設が進められております。



4. 下崎地区について

下水処理場等が立地する下崎地区は、新たな物流の拠点として整備が進められており、平成20年5月には岸壁の一部が供用開始され、砂・砂利やスクラップを運搬する貨物船が利用しています。

また、海上保安庁の巡視船の係留場所にも利用されています。

前面の水域は、宮古・八重山に就航するタンカーや大型貨物船が、台風等の天候の悪いときに一時的に避難ができる水域として整備しています。



5. トゥリバー地区について

トゥリバー地区は、宮古島のリゾート・観光の拠点として整備が進められている地区です。現在は、人工ビーチとマリーナが整備されています。また令和5年の開業に向けて「ヒルトン沖縄宮古島リゾート」の建設が進められております。

人工ビーチやその周辺では、ロックフェスティバル等のイベントが開催されています。

また、マリーナは、カヌーやサップ体験等、エコツーリズムの拠点として活用されています。



6. 平良港の課題

(1) 漲水地区

漲水地区の荷捌地やエプロンが狭いため、非効率な荷役によるコスト増加等が生じています。

冬季の北東方面からの強い風の影響により、漲水埠頭ではRORO船(貨物船)が岸壁に通常どおりに接岸できないこともあり、抜港や入港遅れが生じています。この場合、日用品や生鮮食品等の物資の到着遅れや宮古島の農産品等の出荷に影響を及ぼしています。

現在整備の進められている航路・泊地の拡張や防波堤の撤去により、抜港、遅れ等の改善が見込まれています。

また、台風時や地震・津波等の災害に対してねばり強い港湾施設整備の推進に努めます。

漲水北防波堤にはクルーズ船専用バースが整備されております。新型コロナウイルス感染症の流行によるクルーズ船の運航停止以降、ほとんど利用されていない現状となっております。

(2) 下崎地区

現在、砂・砂利、鉄くず等のスクラップを運搬する貨物船が主に利用しています。また、海上保安部の大型巡視艇の係留場所としても利用されております。隣接して、台船や曳き船、クレーン船等の作業船の拠点となる船だまりの整備事業を進めているところです。

(3) トゥリバー地区

宮古島市のマリンリゾート観光の拠点として人口ビーチ、海浜緑地、マリーナが整備されており、令和5年夏には、リゾート観光施設となる「ヒルトン宮古島リゾート」の開業が予定されています。

また、人工ビーチではコンサート等のイベントが開催され、多くの観光客も訪れています。

(4) その他

新型コロナウイルス感染症流行以前、大型クルーズ船の寄港数増加によりバス・タクシー等の需要も急増し、一般乗客が利用できる台数が不足。また、多数のクルーズ客が一部のスーパーに集中すること等により地域住民の生活動線と重なり地域住民の負担となったことから、改善が求められています。

2. 平良港の長期構想の基本方向(案)

【平良港の基本理念】

平良港は、宮古島市及び周辺離島地域が抱える課題を克服するための最も重要な社会資本のひとつとして、生活物資の供給、農業などの既存産業や島民の暮らしを支え、観光リゾート産業をはじめとする地域経済を支える新たな産業展開や広域的な交流促進に対応するため、地域ニーズを適切に捉えた機能の再編・強化と空間利用の再構築を図り、地域の自立と活力の維持に貢献していくものとする。

また、宮古島市の市街地のウォーターフロントとして、水辺・港の雰囲気を活かした憩いの場を提供することで市民の日常的な水辺への憧れを充足するものとする。

平良港の役割

- ① 宮古圏民の生活・産業を支える物流拠点
- ② 港湾の再編・都市機能の確保
- ③ 東アジアクルーズ寄港地としての交流拠点
- ④ 亜熱帯海洋性リゾート拠点並びに親水空間としての交流拠点
- ⑤ 災害時に地域住民の生活や経済活動を支える防災拠点
- ⑥ 宮古圏域のエネルギー供給拠点
- ⑦ カーボンニュートラルポートの形成
- ⑧ 国境離島の領土・領海保全及び救難防災体制強化への支援

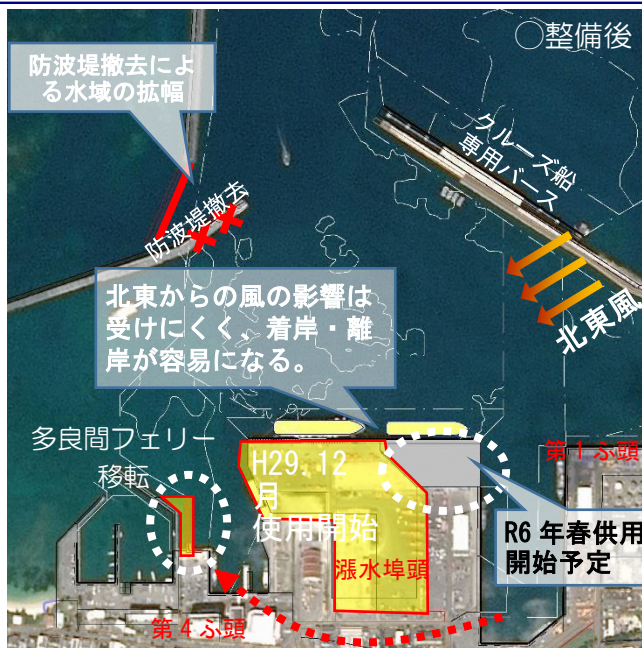
平良港長期構想の基本方向(将来像)

- ① 圏域の生活や産業を支える物流機能の拡充
- ② 港湾再編・都市機能確保による機能分担
- ③ 大型クルーズ船に対応する機能の拡充
- ④ 観光レクリエーション機能、親水空間機能の拡充
- ⑤ 圏域の防災、災害に対処する機能の拡充
- ⑥ エネルギー需要への対応
- ⑦ カーボンニュートラルポート形成に向けての支援
- ⑧ 領海警備及び救難防災体制強化への支援

1. 漲水地区(複合一貫輸送ターミナル)

複合一貫輸送ターミナル事業の一部供用開始により、特に風の強い冬期に貨物船の入出港が困難な現状が解消され、貨物船の寄港地変更(抜港)や到着遅れがなくなることで、農産物の出荷や日用品、生鮮食料等の入荷等への影響がなくなることから、安定した出荷・入荷が見込まれます。

また、多良間フェリーはターミナルビル前の第4埠頭に移転し運航しています。



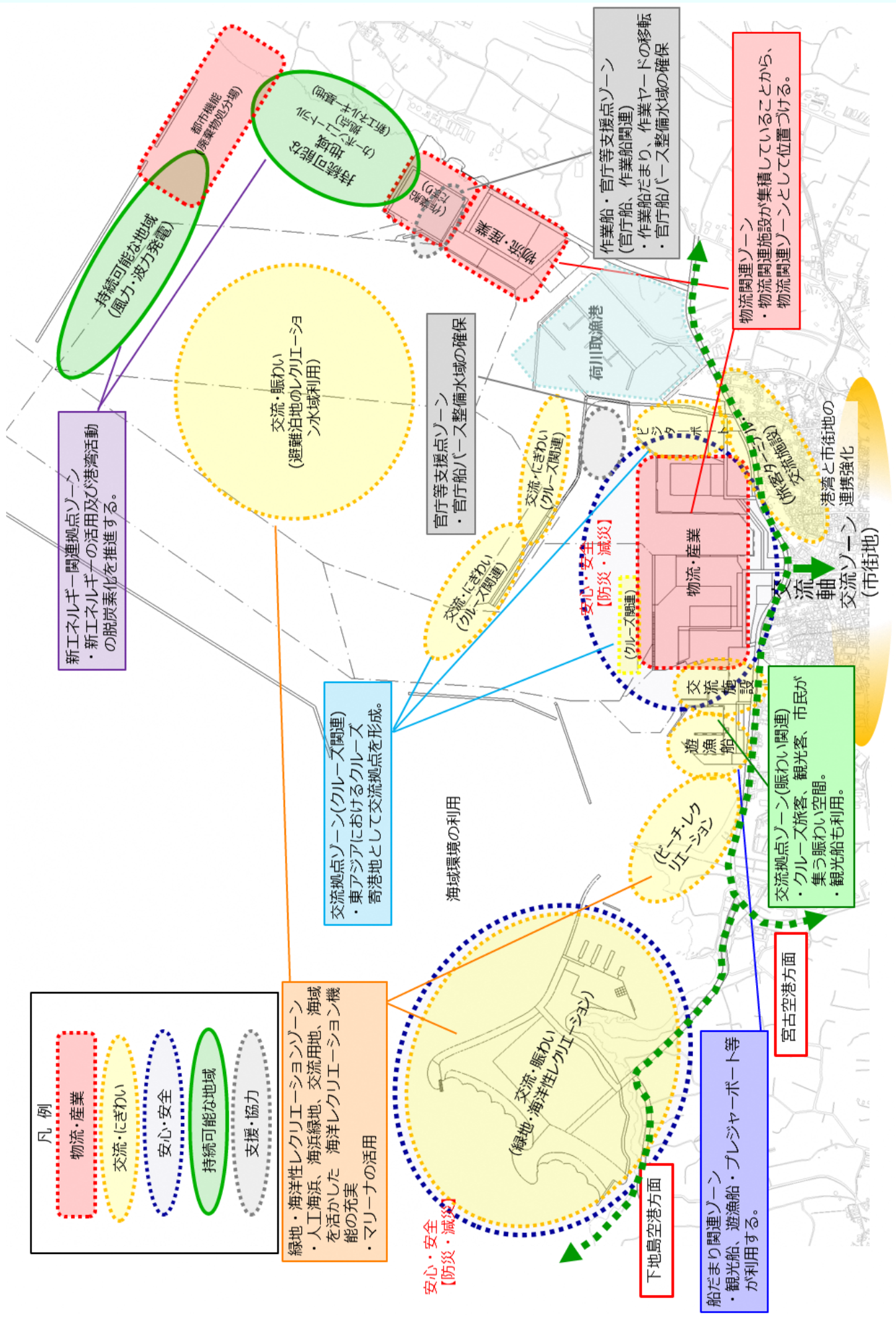
2. トゥリバー地区

令和5年の開業に向けて「ヒルトン宮古島リゾート」の建設が進められております。

マリーナにおいては、90隻(残り29隻分)の船舶が係留できる浮棧橋の整備を進めており、さらに、陸上保管施設、駐車場、管理棟等の整備も進めます。また、近接して商業施設の誘致も進めます。



4. 平良港長期構想ゾーニング案



		空間利用の考え方	
		空間利用の方向性	
ゾーン名			
物流・産業	物流関連ゾーン	宮古圏の産業・経済・生活を支える物流拠点として、貨物輸送、保管等の利用に供する空間	物流関連施設、エネルギー関連施設が集積していることから、今後も圏域の生活、産業に不可欠な貨物輸送の拠点として整備を進め、貨物輸送の安定性を確保する。
	作業船・官庁船等支援ゾーン	港湾工事の作業船、官庁船の活動を支援する空間	作業船だまり、作業ヤードの移転施設の整備並びに官庁船バース整備水域を確保する。
交流・にぎわい	クルーズ関連ゾーン	東アジアにおけるクルーズ寄港地として、国内外からのクルーズ船の寄港を促進する空間	クルーズバース、旅客ターミナル等の関連施設を整備することで、定期クルーズの定着と沖縄県におけるクルーズ産業の発展を寄港地という立場で支援する。
	旅客ターミナル・交流施設	市民、観光客の交流を促進し、賑わいを創出する空間	旅客ターミナルを基点に、港湾の賑わい施設、市街地、宮古島・伊良部島の観光地と連携を図る。また、漲水地区のマリンターミナルビル、シンボル緑地と連動として、賑わい空間を形成する。
安心・安全	船だまり関連ゾーン	国内・海外からの大型プレジャーボート（ビクターボート）を係留する施設 観光船、遊漁船、プレジャーボートが利用する空間	大型プレジャーボートや本土、台湾からのビクター艇の係留施設として利用する。 観光船、遊漁船、プレジャーボートが利用する海洋レクリエーションの拠点とする。
	緑地・海洋性レクリエーションゾーン ビーチ・レクリエーション	快適な港湾環境を創造し、人々が海に親しむことのできる空間	現在も行われている遊覧観光の機能を充実させ、宮古島・伊良部島周辺を周遊、圏域内の観光地やリゾートホテル等を連結する観光船ネットワークを形成する。
持続可能な地域	防災機能強化ゾーン	減災・防災に対応する空間	市民・観光客等が海洋性レクリエーション・親水機会を楽しむ場とし、平良港における海洋性リゾートの拠点とする。
	CNP拠点、新エネルギー関連ゾーン	新エネルギーの活用及び港湾活動の脱炭素化を推進する空間 洋上風力発電、波力発電の導入を図る空間	地震・津波・高潮等への対策を強化する。また、避難場所、避難経路を確保し港湾労働者や観光客の安全確保に努める。 LNGや水素の受入れや供給拠点となる環境整備を推進するとともに、洋上風力発電や浮力発電等の導入により、脱炭素社会を実現するためCNPの形成を目指す。 廃棄物処分施設の海面処分による受入れるエリアにおいて、洋上風力発電、浮力発電の導入可能性を検討する。
支援・協力	官庁船等支援ゾーン	官庁船の利用する領海警備基地の空間	作業船だまりの利用と、官庁船バースを整備する水域を確保する。

平良港長期構想案に関するアンケート調査票(回答ハガキ)

問 1	説明資料をお読みになり、平良港について意見・要望等ございましたら、おきかせください。
	【ご意見・ご要望】
問 2	【属性】各設問の該当する番号に○をおつけ下さい。
	1)性別 ①男性 ②女性
	2)年齢 ①20 歳未満 ②20 歳代 ③30 歳代 ④40 歳代 ⑤50 歳代 ⑥60 歳代 ⑦70 歳代 ⑧80 歳以上
	3)職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④主婦 ⑤学生 ⑥無職 ⑦アルバイト・パート ⑧その他()
	4)住所 (市町村 町字名)
回答はがきは 11 月 4 日(土)までにポストに投函下さい。 ご協力ありがとうございました。	

図 1.1.1 回答ハガキ

表 1.1.1 宮古島市行政区別住民基本台帳登録人口及び世帯数(R4.9月20日現在)

R4.9.20

	世帯数	割合	配布数		世帯数	割合	配布数		世帯数	割合	配布数		
平良計	19,278	67.7%	1350	146	池間	336	1.20%	24	307	川満団地	57	0.20%	4
101 南西里1区	540	1.90%	38	147	下崎	262	0.90%	18	308	来間	105	0.40%	8
102 南西里2区	492	1.70%	34	148	成川	67	0.20%	4	309	洲鎌	209	0.70%	14
103 神屋	220	0.80%	16	149	腰原1区	716	2.50%	50	310	与那覇	325	1.10%	22
104 大三俵1区	167	0.60%	12	150	腰原2区	564	2.00%	40					
105 大三俵2区	300	1.10%	22	151	富名腰1区	605	2.10%	42		上野計	2,050	7.2%	142
106 大三俵3区	1,020	3.60%	72	152	富名腰2区	660	2.30%	46	401	新里	273	1.00%	20
107 上角	266	0.90%	18	153	東川根1区	428	1.50%	30	402	高田	184	0.60%	12
108 前比屋	170	0.60%	12	154	東川根2区	718	2.50%	50	403	上野	182	0.60%	12
109 大原1区	570	2.00%	40	155	東川根3区	996	3.50%	70	404	野原	169	0.60%	12
110 大原2区	781	2.70%	54	156	東川根4区	288	1.00%	20	405	豊原	184	0.60%	12
111 大原3区1	659	2.30%	46	157	県宮平良東団地	92	0.30%	6	406	千代田	506	1.80%	36
112 大原3区2	489	1.70%	34						407	千代田ハイツ	28	0.10%	2
113 馬場	174	0.60%	12		城辺計	2,952	10.4%	208	408	宮国	373	1.30%	26
114 漲水	179	0.60%	12	201	保良	188	0.70%	14	409	名加山	99	0.30%	6
115 北西里	133	0.50%	10	202	七又	27	0.10%	2	410	大嶺	52	0.20%	4
116 根間	65	0.20%	4	203	吉野	99	0.30%	6					
117 下屋	156	0.50%	10	204	新城	146	0.50%	10		伊良部計	2,734	9.6%	192
118 出口	145	0.50%	10	205	皆福	85	0.30%	6	501	伊良部	225	0.80%	16
119 羽立	133	0.50%	10	206	福東	75	0.30%	6	502	仲地	198	0.70%	14
120 東	318	1.10%	22	207	福中	83	0.30%	6	503	国仲	314	1.10%	22
121 栄	433	1.50%	30	208	福西	173	0.60%	12	504	長浜	342	1.20%	24
122 仲屋	263	0.90%	18	209	福北	74	0.30%	6	505	佐和田	243	0.90%	18
123 旭	285	1.00%	20	210	福南	109	0.40%	8	506	池間添1	279	1.00%	20
124 高阿良	354	1.20%	24	211	西東	106	0.40%	8	507	池間添2	279	1.00%	20
125 保屋	214	0.80%	16	212	仲原	64	0.20%	4	508	前里添1	297	1.00%	20
126 保里1区	357	1.30%	26	213	加治道	164	0.60%	12	509	前里添2	260	0.90%	18
127 保里2区	735	2.60%	52	214	比嘉	145	0.50%	10	510	前里添3	297	1.00%	20
128 荷川取	367	1.30%	26	215	長北	96	0.30%	6					
129 久貝	389	1.40%	28	216	長間	128	0.40%	8					
130 松原	339	1.20%	24	217	長南	133	0.50%	10					
131 七原	586	2.10%	42	218	吉田	72	0.30%	6					
132 地盛	355	1.20%	24	219	西西	151	0.50%	10					
133 山中	124	0.40%	8	220	西中	85	0.30%	6					
134 野原超	125	0.40%	8	221	上区	166	0.60%	12					
135 盛加	59	0.20%	4	222	下南	78	0.30%	6					
136 細竹	59	0.20%	4	223	うるか	210	0.70%	14					
137 宮原	260	0.90%	18	224	友利	295	1.00%	20					
138 高野	56	0.20%	4										
139 添道	262	0.90%	18		下地計	1,478	5.2%	102					
140 福山	76	0.30%	6	301	上地	263	0.90%	18					
141 西原	290	1.00%	20	302	上地団地	114	0.40%	8					
142 大浦	82	0.30%	6	303	入江	85	0.30%	6					
143 島尻	169	0.60%	12	304	嘉手苺	91	0.30%	6					
144 狩俣	310	1.10%	22	305	高千穂	84	0.30%	6					
145 大神	20	0.10%	2	306	川満	145	0.50%	10		合計	28,492		1,994

資料:宮古島市総務部総務課

表 1.1.2 多良間区別人口及び世帯数

	世帯数	割合	配布数
多良間計	532	100%	239
土原区	34	6.4%	15
天川区	47	8.8%	21
津川区	42	7.9%	19
宮良区	31	5.8%	14
嶺間区	68	12.8%	31
大道区	94	17.7%	42
大木区	122	22.9%	55
吉川区	91	17.1%	41
水納区	3	0.6%	1

注1:世帯数は「広報たらま」より
(R4.7月現在)

1.2 アンケート調査結果

1)調査の実施

10月19日から11月4日にかけて、平良港背後住民(宮古島市住民)及び利用者(多良間村住民)を対象に平良港の長期構想に関するアンケート調査を実施した。

調査票の配布数は宮古島市 2,000 通、多良間村 240 通の合計 2,240 通で、回答数が宮古島市 129 通、多良間村 4 通となり、回収率は 6.1%となった。

図表 1.2.1 送付数及び回答数と回収率

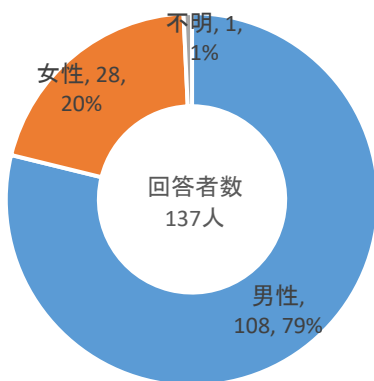
	送付数	回収数	回収率
宮古島市	2,000	129	6.1%
多良間村	240	4	
不明		4	
合計	2,240	137	

2)調査結果

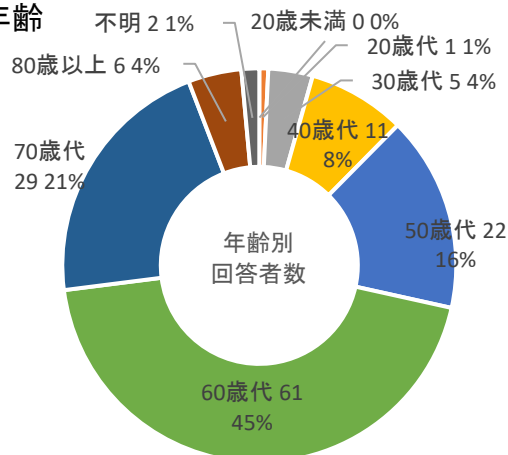
3)属性

回答者の性別は、男性で 79%、女性で 20%であった。回答者で最も多い年代は 60 歳代であり 45%を占め、次いで 70 歳代の 21%、50 歳代の 16%であった。また、最も多い回答者の職業は自営業で 31%、次いで無職の 18%、会社員の 15%であった。地域別では、最も多いのが平良で 59%を占め、次いで城辺 15%、下地の 10%であった。

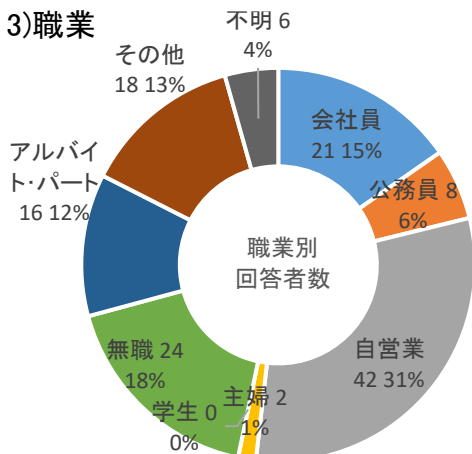
1)性別



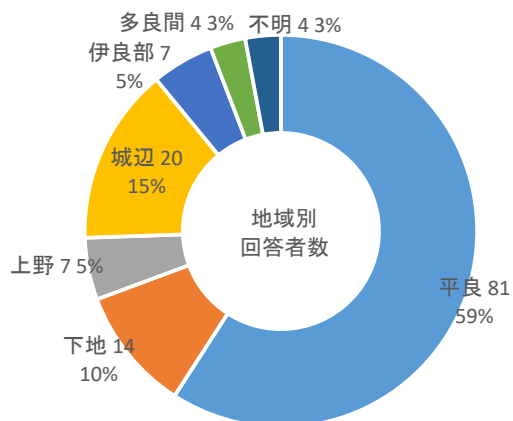
2)年齢



3)職業



4)地域

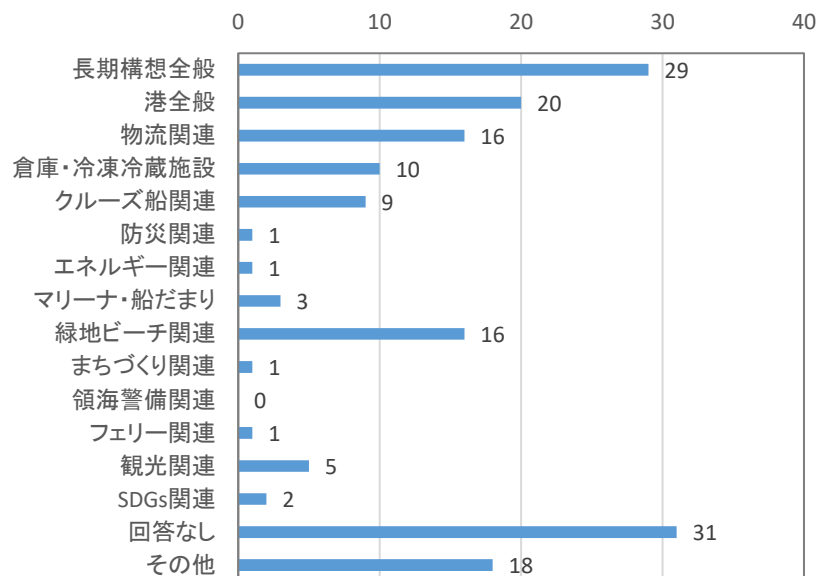


4)意見・要望等の整理

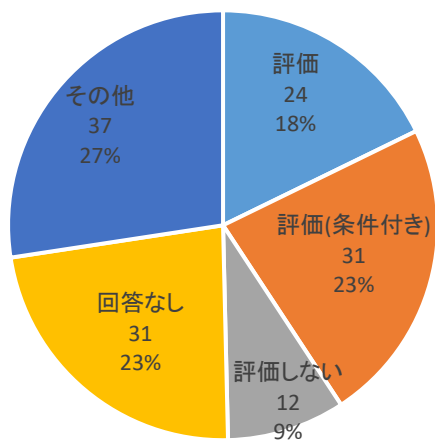
アンケート調査の意見・要望等については、長期構想の基本方向に関連する以下の 12 項目に分けて集計した。(複数回答あり)

1.長期構想全般について	9.緑地・ビーチについて
2.港全般について	10.まちづくりについて
3.物流について	11.領海警備について
4.倉庫・冷凍冷蔵施設について	12.フェリーについて
5.クルーズ船について	13.観光関連について
6.防災について	14.SDGs について
7.エネルギーについて	15.回答なし
8.マリーナ・船だまりについて	16.その他

項目別の回答数は 162 件あり、最も多かったのは「長期構想全般について」で 29 件、次いで「港全体」が 20 件、「物流について」、「緑地・ビーチについて」が 16 件、「倉庫・冷凍冷蔵施設」について」が 10 件、「クルーズ船について」が 9 件の順となる結果となった。



また、長期構想等の内容に関して、評価する内容が 24 件、評価【条件付き】が 31 件、評価しないが 12 件の結果となった。



5)代表的な意見について

ここでは、頂いた意見・要望等から、代表的な意見を整理する。

また、意見・要望に対する対応方針についても整理する。

○長期構想について
【評価する意見】
・長期構想の基本方向に示されている。各機能を拡充し、宮古の海の玄関として、総合的に発展して欲しい。特に、漲水地区の荷揚地やエプロンについては、早期に改善して生活品や農産品等の移出入が滞らないように早期改善して非常時においても生活必需品不足なく、市民が安心出来る体制づくりをしてほしい。
全体的に便利になると感じます。多良間フェリーに関して言えば積荷はスムーズにいくのか不安。
平良港漲水地区下崎地区は、島民の生活に直結しているので、整備することでより良い生活環境につながることは理解できました。且、懸念されるのは、自然環境保全、海洋資源への影響だと思います。特にトゥリバー地区はリゾート開発が急速に進んで、思いがけない海洋汚染につながるのではないかと心配しています。ありのままの自然、宮古ブルーがいつまでも変わらぬよう、対策をお願いします。
今回の港湾整備に伴い、物流産業が安心、安全に推進され、地域の交流(拠点)として各港湾の活性化につながることは大変喜ばしいことと思います。 これからの宮古島の発展のための構想とご活躍を期待しています。
これ迄港湾についての情報はあまりなくて、今回のパンフレットにより詳しく知ることが出来ました。これからの宮古島の発展のためや東アジアクルーズ船の玄関口として良いイメージで整備が出来ますように願っています。
漲水地区やトゥリバー地区の整備により宮古島市の経済向上と心のゆとりで心身共に健康で明るい社会づくりに頑張ってください。
・平良港長期構想案が実現し、観光に力を入れるだけでなく漁業や海、環境の保全もしっかり対策していってもらえたら嬉しいです。
【条件付き評価】
全体的な構想は良いと思いますが、アバウトなアンケートの取り方ではどのように回答していいかわかりません。アンケートの設問を細かくした方が回答もしやすいと思います。
大変結構な計画だと思いますが、2 長期構想の基本方向(案)の中の⑧は表現を平和的な文書に書き換えた方がいいと思う。軍隊の匂いがする。
・今後の地域発展につながる様に進めて下さい。
・公共工事に関して思う事は、長期的に将来の展望を見据えた開発をしてほしいと思います。せっかく作った施設設備が、課題があるからと簡単にとりこわされることには、疑問をもっています。今回の構想案が宮古島市民のためである(税金のムダ使いでなく)事を願っています。
【評価しない】
・平良港の役割の現況と長期構想の基本方向に異(経緯)いがはっきりしない。(同じではないの) ・トゥリバー地区の開発は外来者(島外者)だけでなく地元も使用できるようお願いしたい。

<p>平良港長期構想ゾーニング案を見てショックです。港は立派になりますが、物流も接岸も良くなるが、一番宮古の発展を考えているとは思えないです。訪れた観光客(クルーズ船客含む)との交流賑わいを創出するのに港湾内に「こだわりが」強いみたい(アトール隣の遊漁船だまり及びルーカスホテル近辺)。なぜだ。(交流ゾーンを旧市役所を中心に考えてほしいです)宮古島の3通り街は夜の賑わいだけで、昼間は、北小学校以外人間が居ない。限界集港町になっている!!</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・伊良部島なので平良港構想については、関心がない。 ・関連についても、どのような連けいかも、考え方にしめされていない。関連するネットワークについても伊良部島とは関係ない感じを受ける。 ・行政の絵をかいたようなものと思う。 ・地域住民の説明会をしてもらいたい。
<p>【その他】</p>
<p>資料を見たかぎり、役割は理解できるが、課題は想定できない。</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>長期構想で掲げた目標の達成に向けて、また、今後の港湾計画の改訂、更に施設整備を進めるため、関係機関と協力しながら施策等の実現を目指します。また、港湾内の各施設については、さらなる機能の充実や環境改善等を図るよう対応していきます。</p> <p>また、平良港の利用者となる宮古島市民及び多良間村住民に対しては、平良港の役割や今後の整備等について、十分に理解いただけるよう説明を尽くして行きます。</p>

<p>○みなと全般について</p>
<p>【評価する意見】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・せつかくのきれいな港という独特の雰囲気を活かした形で横浜港の様なイメージを持つ港湾地区にして欲しい。レトロな建造物の上手に活かして下さい。 ・クルーズ船は期待する。下崎と港を繋いでどうか。
<p>平良港は宮古島の物流の拠点として大変重要だと思えます。これからの快適で安全な港として発展して行く事を願います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の生活への不自由さが改善される事に期待致します。
<p>【条件付き評価】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・平良港周りに統一性がなくコンテナを使った店や宿泊施設はとても見苦しく残念な気持ちになる。イタリアやトルコの様なカラフルな家が並ぶようになれば観光地を目指す宮古島にぴったりな玄関口になれるだろう。新しいものを取入れながらも古き良き時代の宮古を保存し守って頂きたい。
<p>②商業施設が内陸へと向かっているの、漲水第一ふ頭周辺に大規模商業施設農水産物専用でもいいスーパー併設</p>
<p>③外からの平良港へのアプローチ航路が狭いような気がする。周辺の暗礁を撤去してはどうか。港内も。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・長期的視点を持って将来は国際的な港にしていく事を提案したい。

<ul style="list-style-type: none"> ・旧平良庁舎から坂を降りて来たところの平良港の玄関口は、古くから玄関口として利用されてきたのにも関わらず、景観上として入口近辺が整備されていないように思われます。平良港の玄関口としてふさわしい様に整備して欲しい。 ・トゥリパー地区に関して、来年の6月にヒルトンホテルの開業となっていますが、東京ホテル、ドイツ村の様に地元の市民が気軽に利用出来ないような施設及び地域には絶対にして欲しくない。いろんなところでホテル建設が進められています、市民が自由に利用できる海辺も少なくなっているように感じる。
【評価しない】
なし
【その他】
<p>団体観光の多い港ですのもっと周辺道路の整備が必要かと思えます。無駄の無い施設運営で安心した暮らしの提供宜しくお願ひします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平良港の役割についてもっと認識してもらえるような活動が必要と思ひました。資料を拝見し、平良港が宮古島住人の皆さんの生活を支えているんだと感じビックリしました。 ・沢山の人が入って来ると思うので、交通安全への整備、道の補修へも力を入れてほしいです。 ・発展していく港、商業施設の間にある公園の整備も必要かと思ひます。ホームレスの利用にならないように。 ・クルーザーの出入港となっている所に観光客の休憩所を作してほしい。 ・現在空地になっている場所に宮古の海産物、農産物が食べられるようにテナントをおき、観光客は好きな物を買ってその場で食べられるところがあればとっても良いと思ひます。ぜひ検討ください。 ・人頭石の周辺ですが清掃もなく荒れた状態です。仕方なく近隣の私たちがガソリンや草刈り機も買って清掃しています。近くに井戸もありますが、文化財の1つです。真剣に対応して下さい。 <p>②について、整備は計画的に進められていると思うが、環境美化等、美しい港にしてみたい。</p> <p>②について、大型ホテルが完成間近ではあるが、ビーチ等に市民が入ることができなくなるのではとの心配があり慎重に考えてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流拠点としての重要性を高めるとともに人的交流以後の場も考えてほしい。
【意見への対応方針】
<p>宮古島圏域の物流の拠点を担う平良港として、安心・安全に利用できる港、安定的な物流機能の確保、エネルギー供給拠点、地域住民が利用でき、憩える空間の整備等、必要な施設整備を進めて行きます。また、トゥリパー地区のビーチについては、ホテル利用者のみでなく、これまで通り地域住民も利用できるビーチとして、利便性等の向上を図ります。</p>

○物流について
【評価する意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・漲水港複合一貫輸送ターミナルにおける日用品等の入荷等への影響がなくなることは島民にとっての願ひでもあると思ひます。災害等に於ける生活用品の確保は大切なことですので早急に対応を。

<ul style="list-style-type: none"> ・物流・産業関連ゾーンと、交流施設等が近いために安全に気を付けている。そのためには、道路の幅をひろげること、歩道を大きめにすることが大切だと考えます。 ・すべてに関して、最先端(最新)技術、また AI 等を、未来都市志向でお願いします。
<p>計画(構想案)通りに進めて頂ければ貨物船等の入出港の困難は解消され農産品等の出荷、日用品、生鮮食料の入荷等の影響はなくなります。期待しています。</p>
<p>長期構想の基本方向に添った主要事業の着実かつ迅速な実施を強く要望いたします。特に、物流拠点の機能拡充については最重要課題として取り組みを要望いたします。特に、物流拠点の機能拡充については最重要課題として取組を要望。</p>
<p>【条件付き評価】</p>
<p>埠頭用地拡張(持続可能ゾーンも含めて)担し現海岸線の影響は避ける、倉庫、保管機能の充実。機能別利用の一元集約整理(バンカー地区等)</p>
<p>生活物資の安定輸送を最優先に整備してほしい。特に冬の海の荒れる時や、台風時、食品がスーパーから品薄になったりする</p>
<p>台風時、大型船舶でも避難場所があれば欠航する日が少なくなるのでは。</p>
<p>下崎ふ頭は今でも狭いのに外航船としては岸壁の長さが短く、もっと喫水を深くしてほしい。せめて2隻接岸できる長さに。巡視船はまとめて長山港に移動させて下さい。県の管轄である長山港の整備をお願いします。</p>
<p>台風が去った後とか波が荒いと貨物船が入港困難になりスーパーの品薄が改善されるようになるということで期待できる事業です。</p>
<p>災害時における地域の食生活の安定、供給を充実してほしい。</p>
<p>【評価しない】</p>
<p>なし</p>
<p>【その他】</p>
<p>・物流拠点の拡大、台風、物流が滞った場合の対策の拡大</p>
<p>ロジスティクスとは言わないまでも「物流」の一大拠点港となるような巨大ストックのヤードの整備を行うことがこの島の発展と将来の災害から島民を守ることにつながるのではないかと考える。</p>
<p>・港湾の最大の役割は、大量物流拠点だと思います。海外のクルーズ船受入れは二の次で離島の宮古島は外部(海外を含む)からの物資が必要不可欠です。港の活用は輸入と倉庫の整備が第一!!余ったら、観光に利用したら良いと思います。</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>漲水地区については、定期 RORO 船や貨物船等の入出港時の安全性向上、遅延、抜港への対応、十分な荷捌き施設や保管施設の確保等、宮古島市民の生活を支える物流機能の強化を図っていきます。</p> <p>下崎地区については、下崎ふ頭の利用向上、小型船だまりの整備を進めて行きます。</p>

○倉庫・冷凍冷蔵施設について

【評価する意見】

なし
【条件付き評価】
・9月の台風時の物不足にならないよう港や倉庫の整備拡充を進めて頂きたい。
保管庫の運用も含め物流の整備を優先的に観光エリアは、たとえたくさんの方が船で来島しても、他のインフラ整備を先にしないと混乱するだけだと思う。
・台風時とか、品薄状態が今年も大変だった。
・保管されていなければ意味がないので、そこら辺の確実性、把握をする施設作りをしてほしい。
・台風時の物の不足がなくなる様に整備を行ってほしい。
・長期台風などによる物資不足に対応する保管庫などの要望。
【評価しない】
なし
【その他】
台風の多い宮古地区として物流の貯蔵施設の充実が必要かと思えます。
今年も台風が近づくとスーパーコンビニに食品等が無くなるので、離島である事を痛感してしまう。せっかく完成した倉庫が機能しなかったのが残念だ!!うまく機能するように行政でなんとかしてほしい。
・台風接近時でも市民生活がスムーズにいくよう、もっと物流関連(食料品の大量保存)を充実してもらいたい。
・食料貯蔵庫、冷凍設備を整えてほしい。
【意見への対応方針】
平良港総合物流センターの運用改善や保管機能を充実させるとともに、冷凍冷蔵倉庫の機能等も確保できるよう宮古島市としてどのように対応できるか検討を進めているところです。

○クルーズ船について
【評価する意見】
なし
【条件付き評価】
・大型クルーズ船が来るのは良いが受け入れ体制が追い付いていない。せっかく来島した人も残念な気持ちで帰って行く。リピーターにならない。まずは、草刈り+ゴミ拾い+南国らしさが重要。
・大型クルーズ船の寄港数増加、観光リゾートホテルの建設、色々な事業が計画されていると思いますが、地域住民生活、地域住民の負担とならないように進めていけば良いのではないかと思います。そしておおくの島国からの物流の拠点としての港湾事業の発展に頑張ってください。
【評価しない】
大型クルーズ船に対応する機能の拡充を重点にしないでほしい。これまでの取り組みでメリットが感じられない。市の財政を圧迫しているようにも感じる。
クルーズ船に関しては島民の生活に不便がないようにできないかと思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも島の大きさを考えず、クルーズ船を受け入れる事が間違い。 ・島の自然破壊が止まらず、一部の者のみの営利事業となっている。 ・漁業関係者のみの声を聞き、つまらぬ港の改造を止めて下さい。観光課の発想が幼稚すぎるのが癌。
【その他】
<ul style="list-style-type: none"> ・中国人のクルーズ船は来て欲しくない。 ・宮古島に大型クルーズ船の客を受け入れるキャパは無い。
<ul style="list-style-type: none"> ・大型クルーズ船の入港時は、町の様子が一変する為、タクシー利用やスーパー集中する件など改善して欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船が来島の際は、トイレやレジへの問題で大変な事業者がいっぱいいました。なので受け入れ体制に強化などの方へも力を注いでもらえたらと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・構想案は問題ないと思うがクルーズ船が入るたびに島が汚される中国人が来た所のトイレマナーが悪く、ごみ問題などもっともっと考えてもらわないとやりたい放題島にゴミを捨てずに持ち帰るとか入島税を取るとか、大きな問題をクリアする様をお願いします!!何故島民の税金が旅行する人のために使われるのか!!
【意見への対応方針】
<p>クルーズ船の寄港再開後、市民生活の負担にならないよう、関係機関と連携して準備を進めます。また、市民への寄港情報の提供やバス・タクシー等の二次交通の確保、受入れ体制の充実、混雑解消等、行政機関や民間等と連携し対応して行きます。</p>

○防災について
【評価する意見】
なし
【条件付き評価】
なし
【評価しない】
なし
【その他】
<ul style="list-style-type: none"> ・危険物取扱い地区は、電力側の人口の少ない地域に移したほうが良いと思う。(ガス・石油類)
【意見への対応方針】
<p>地震や津波に対応するため、物流拠点となる平良港漲水地区の岸壁を耐震強化岸壁として整備しており、また、背後地も物資の補給拠点となるよう整備を進めています。また、被災時の避難経路・避難場所の確保等も確立して行きます。危険物取扱施設については、将来的には市街地から離れた下崎地区への移転も検討していきます。</p>

○エネルギーについて
【評価する意見】

なし
【条件付き評価】
なし
【評価しない】
なし
【その他】
・エコアイランド宮古島をアピールするとともに来島者に対する心構え
【意見への対応方針】
平良港においても、エコアイランド宮古島宣言の理念を踏襲し宮古島市の発展に寄与したいと考えています。 港湾内のエネルギー関連の施設については、将来的には下崎地区への移転を引き続き検討していきます。

○マリーナ・船だまりについて
【評価する意見】
・トゥリバー地区のマリーナを宜野湾港マリーナ規模欲しいです。
【条件付き評価】
①マリーナの整備は地元が使用しやすいように配慮して本土の半グレが金にものをいわせて利用がみられる。 ④トゥリバーマリーナから外洋へのアプローチ航路に岩礁が多くヨット等の航路が危険。
【評価しない】
なし
【その他】
・トゥリバー地区でのレジャーのルール策定 ・マリーナ使用(利用)における反社(半グレ)等の排除、上記トゥリバー地区でも同様。
【意見への対応方針】
トゥリバー地区マリーナに計画する浮棧橋の整備を進めるとともに、損傷した浮棧橋の修繕を図り、必要な係留施設の確保に努めます。 水上オートバイ等のマリンアクティビティについては、12月20日の市議会において、「宮古島市水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例」が承認され、水上オートバイによる事故防止等に努めることや、安全なビーチや海域利用ができるよう、事故防止重点区域等を設定することが可能となりました。

○緑地について
【評価する意見】
・交流・賑わい(緑地・海洋性レクリエーション)への移動手段として電気式無人バス等を取り入れる方が良いと考えます。

<ul style="list-style-type: none"> ・観光客を大切だと思いますが島民に対する潤いも大切です。憩いの場の提供、活用も気軽にできるいいですね。
<p>【条件付き評価】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・平良港の元「たらまゆう」乗り場のうしろに広がる芝生の広場を一般募集して屋台村のような活気のある場にしたら良いと思います。イベントをしたり。地元、観光客、海外からの船が入るようになったらその客と幅広く楽しめると思います。
<p>緑地帯の活用不十分。市民交流の場の充実(海の駅イベント散策展望台等)。パイナガマビーチの(市民)海水浴場としての維持保全整備。</p>
<p>建物が主なので、できるだけ空間を利用して樹木を植栽し、きれいに選定(剪定)し、市民の心やすらぐ場にしてほしい。</p>
<p>トゥリバー地区について、リゾート観光拠点とするなら道路整備をもっと積極的に進めるべき。老朽化が進んでいます。ヒルトンホテルができて今道路環境は恥ずかしいと思う。野犬も処分を進めないと印象が悪い。素材は素晴らしいと思うので、頑張ってください。</p>
<p>トゥリバー地区には令和5年開業(ヒルトン宮古リゾート)しますが、現在海岸沿いを多くの市民がウォーキング等に利用している。開業しても海岸沿いは今まで通り利用できるようにしてほしい。</p>
<p>特にトゥリバー地区は緑いっぱいの場所にしてほしい。そして、地元のアーティスト達がパフォーマンス出来る場所をいつでも使用出来るように用意してほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・トゥリバー埋立地と元の海岸線を小舟が通るように整備してもらいたい。 ・元のトゥリバーと伊良部大橋に行き来できるようにしてもらいたい。
<p>【評価しない】</p>
<p>なし</p>
<p>【その他】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本市にはつり好きな人がたくさんいます。港内につり専用ゾーンを作り、市が管理、利用料で運営は充分まかなえると思います。マナーのないつり人の教育にも活用し、きれいな海を後世に残すような役割も考慮願う。
<ul style="list-style-type: none"> ・トゥリバー地区に関し市民が安心して遊べるような配慮をすべし。(入浜権が消滅しつつある)
<p>トゥリバー地区の開発については一企業に任せず砂浜に面したゾーンをハワイのワイキキに似た様な施設があれば島内で楽しめるゾーンになると思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・トゥリバー地区については地元住民にも利用しやすいように、トイレやシャワー室の開放を要望します。 ・観光客も大事ですが地元のサービス何上についてもご検討お願いしたいです。 ・又、大きな整備された公園も子育て世代のとしては欲しいです。(沖縄本島のように充実した遊具が欲しいです。)
<ul style="list-style-type: none"> ・トゥリバーをジェットスキー用ビーチにして前浜を昔みたいに静かなビーチに戻す。
<ul style="list-style-type: none"> ・トゥリバー地区について人口ビーチ、マリーナ区域に民間の商業施設が参加できるエリアが必要だと思う。現在の両施設は賑わいが欠けていると思う。

<p>・トウリバー地区の人工ビーチの施設の利用ができにくい。誰でも利用できるような告知、広報をもっとして欲しい。例えばシャワー室の利用の仕方とかビーチ付近にあるバーベQの利用等せっかくの施設があるのに利用できない様な気がする。</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>トウリバー地区については、道路や沿道、護岸の手すり等の老朽化への対策を図ります。 また、ビーチやシャワートイレ等の施設は、これまで通り地域住民の利用も可能です。 漲水地区背後の緑地については、緑地機能の充実を図るとともに、災害時の物資補給拠点等としても活用する予定です。また、旧多良間フェリー待合所前の緑地については、今後、商業施設等の立地を図り、賑わい空間として、地域住民や観光客が利用できる施設整備を進めて行きます。</p>

<p>○まちづくりについて</p>
<p>【評価する意見】</p>
<p>なし</p>
<p>【条件付き評価】</p>
<p>なし</p>
<p>【評価しない】</p>
<p>・(交流ゾーンを旧市役所を中心に考えてほしいです)宮古島の3通り街は夜の賑わいだけで、昼間は、北小学校以外人間が居ない。限界集港町になっている!!</p>
<p>【その他】</p>
<p>・散歩したくなる海岸通りを伸ばしてほしいです。</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>平良港の背後地や市街地と連携した、また史跡等も活用した港周辺の賑わい空間の創造等、地域の活性化につながるみなとまちづくりを関係部署(都市計画課等)と協力し進めて行きます。</p>

<p>○領海警備について</p>
<p>【評価する意見】</p>
<p>なし</p>
<p>【条件付き評価】</p>
<p>なし</p>
<p>【評価しない】</p>
<p>なし</p>
<p>【その他】</p>
<p>なし</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>今回のアンケート調査では、特に領海警備について意見はありませんが、巡視船の増加等</p>

に対応するため、関係官庁や貨物船社等と調整を図りつつ、巡視船が係留できる施設及び水域を確保できるよう検討を進めます。

○フェリーについて
【評価する意見】
なし
【条件付き評価】
多良間フェリーに関して言えば積荷はスムーズにいくのか不安。
【評価しない】
なし
【その他】
・港が整備されたら那覇や石垣島への旅客船も再開できるようにしてほしい。
【意見への対応方針】
<p>多良間フェリーについては、令和4年1月には第4ふ頭に移転し運営されています。新たなフェリーバースの供用開始後は、さらなる離島便の利便性等の向上に努めます。</p> <p>旅客船の先島航路については、那覇港や石垣港の管理者や航路を運航する船社や、他運航事業者等とも意見交換を行い、運航再開の可能性や実現性等を確認して行きます。</p>

○観光関連について
【評価する意見】
なし
【条件付き評価】
<p>・パイナガビーチは地元の子ども達、お年寄りが多く泳いでいますがジェットがブンブン飛ばしていていつもあぶないです。ジェットの乗り入れを規制してほしいです。強く強くお願いします!!</p> <p>・観光の拠点として、整備を進めてほしい。(魅力ある宮古島に)</p>
【評価しない】
なし
【その他】
<p>・クルーズ船の観光客のみでなく空港からの観光客も楽しめるビジターセンター設置。</p> <p>・留意点を周知する場として活用(自然保護、ゴミの持帰り等)</p> <p>・宮古島の観光案内(歴史等も)の他に市民も楽しめる施設(特産品、フードコート、屋上には星空観測等もできるなど)</p> <p>オーストラリアの旅行で(ツアー)の時ポートレースのショーに感激し今でも忘れられません。宮古島のきれいな海でクルーズ船からでも見られるようなハーリー船と組んでプロのショーが出来たらすごい観光の島、夢の島になるのでは?</p>
【意見への対応方針】
平良港の緑地等を利用し、市の観光交流拠点の一つとして、地元住民や観光客が利用で

きる賑わい空間の整備を進めて行きます。

○SDGsについて

【評価する意見】

・市民生活、観光、脱炭素社会を取り込んでいるところは良いことだと思います。

【条件付き評価】

平良港漲水地区下崎地区は、島民の生活に直結しているので、整備することでより良い生活環境につながることは理解できました。且、懸念されるのは、自然環境保全、海洋資源への影響だと思います。特にトゥリバー地区はリゾート開発が急速に進んで、思いがけない海洋汚染につながるのではないかと心配しています。ありのままの自然、宮古ブルーがいつまでも変わらぬよう、対策をお願いします。

【評価しない】

なし

【その他】

なし

【意見への対応方針】

平良港の整備に際しては、脱炭素社会を目指すため、LNG や水素等の新エネルギーの供給拠点の整備や、太陽光発電の活用、荷役機材の電動化、ブルーカーボンの保全・活用等を検討していきます。

また、自然環境の保全については、リゾート開発に際には周辺環境に十分に配慮し進めて行きます。

○その他

【港湾の開発、工事等に関する意見等】

・商業施設(ホテル等)はこれ以上必要ない。富裕階級、観光客優先は将来をなくすことになる。

・広い施設(規模)なので、遊べる施設・食べる施設とかできたら、楽しく利用できると思います。

・観光施設ばかりが増えていき、何も活用せぬまま年月がすぎていく事業施設への投資も先を見据えるのが甘く感じています。

・これからは、他の事業へ目を向けるのも必要ではないか。

・未来への借金が増加するのも今の子供達にとっては、負担が大きすぎます。もう少し、時間をかけ、住民が納得のできる説明をし、考えていってほしいです。

・これ以上、コンクリート事業を増やさないで!!

・下崎ふ頭について砂、ジャリ、スクラップ、荷卸し作業が今日のように行われています。

・作業にともない、ホコリが大変ひどく大変迷惑しています港湾課にも何度か TEL しましたが、一向に改善する気配もなく、とても困っています。

・行政側が動く気配がないので、今後マスコミを動かしてみようと思います。ホコリ対策、砂上げ港の場所、検討をお願いします。

<p>・この資料で事業の善し悪しの意見を言うのは軽率です。只島のため、施設の完成を祈ります。</p>
<p>・平良港全て完成した？これでホッとしている所です。工事中には大変迷惑を受けました。工事の石材搬送時、城辺 19 号線 6 メートル道路を 10 屯ダンプ 20 台程の往来で午前 7 時から午後 6 時までの間毎日(日曜日を除く)、振動・騒音・土ボコリ・運転マナーの悪さ(高音警笛・追い越し・スピード・事故も発生した)等、悩まされました。のどかな農村の生活道路が一転、産業道路へと変わり果て、生活にも支障があった事を思い出す。今回の港湾うみたて(埋め立て)事業は大きな犠牲で完成している事をわかって欲しい。今後の対策は？(SDGs)自然資源が大事・石材などの搬送には集落内の生活道路使用時には集落内の自治会住民・業者・施工者で説明会を通して、交通安全等・運転手マナー・周辺生活者へのご配慮をお願いしたいです。</p>
<p>大浦港地区の現在進行中の上級リゾートホテル園區に連関した形での保養エリア形成の検討はいかがですか。</p>
<p>事業にかかる説明内容に工事のダンプ運搬ルートが示されていません。ダンプ運搬によるスピード、事故、積み荷超えによる散乱、ほこり等の被害が後をたたない。保良近辺よりの鉾山から運搬のケースが多く、原野(山)が崩され陸の生態系が破壊されつつあり、その上に塩害も加わる仕末(始末)。将来の島の在り方にも非常に危惧する行為。このような工事は地域の分断も起こる。</p>
<p>・埋め立てによって海流が変化して砂の堆積が深刻になった場合には、きちんと対応して欲しい。</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>今後の港湾の計画、整備等については、宮古島市の経済の発展や観光業に寄与するよう、整備効果にあった事業を進めるよう努力します。</p> <p>また、事業を進める際には、地域住民への負担をできる限り軽減するように努めるとともに、十分な理解を得られるよう広報や住民説明会等の手法も含め説明を行っていきます。</p>

<p>○その他</p>
<p>【安心・安全等に関する意見等】</p>
<p>先日も八重山の SUP 事故が報じられていましたが事故が急増しています。トゥリバーでも無資格ガイドに営業させずにインストラクター資格を持っている等、安全基準を市で定め、安全性の高い業者のみが営業できるようにする等、事故がない安全なエリア作りをお願いします。</p>
<p>・年間一万人が行方不明(スパイ)となっていると言われる中国人の上陸の厳しい人数把握 ・将来中国共産党による偽装難民が押し寄せると言われているが、港湾の管理強化</p>
<p>【意見への対応方針】</p>
<p>海洋レクリエーションに関しては、市の管理する海域等については管轄する海保とも連携し、運営業者等には十分に安全性を確保した運営となるよう広報活動、注意喚起等に努めて行きます。</p> <p>クルーズ船による外国人の入港については、船社や入国管理事務所とも連携し、関連法案に則った入国管理に努めて行きます。</p>

○他部署に関連する意見等(再掲)
【環境等に関連する意見等】
・自然環境保全、海洋資源への影響だと思います。特にトウリバー地区はリゾート開発が急速に進んで、思いがけない海洋汚染につながるのではないかと心配しています。
・平良港長期構想案が実現し、観光に力を入れるだけでなく漁業や海、環境の保全もしっかり対策していただけたら嬉しいです。
・トウリバー地区の開発は外来者(島外者)だけでなく地元も使用できるようお願いしたい。
【まちづくり、景観等に関連する意見等】
・イタリアやトルコのようなカラフルな家が並ぶようになれば観光地を目指す宮古島にぴったりな玄関口になれるだろう。
・人頭石の周辺ですが清掃もなく荒れた状態です。仕方なく近隣の私たちがガソリンや草刈り機も買って清掃しています。近くに井戸もありますが、文化財の1つです。真剣に対応して下さい。
・平良港から空港ターミナル、鏡原地区へ抜ける地下道の建設
・市役所周辺、広大な農地の都市化、開発
【漁港等に関連する意見等】
・漁業関係者のみの声を聞き、つまらぬ港の改造を止めて下さい。観光課の発想が幼稚すぎるのが癌。
・荷川取漁港の陸地側の有効利用については、魚市場の背後の公園や不要な4車線道路は撤去して、別の有効な利用方法を考えてほしい。
【意見への対応方針】
港湾課以外の他部署に関連する意見等については、情報を管内で共有するとともに、宮古島市として各部署連携し、横断的に対応できるよう努めます。